

関東アコーディオン演奏交流会

No. 2

実行委員会ニュース

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

2009.5.6 発行

ニュース担当者

乙津. 笠原. 小神

《第2回実行委員会開催される》…4月19日(日)午後6時より大久保地域センター(新宿)に於いて第2回実行委員会が開催されました。[参加者:宇野、塚本、築山、乙津、田中、笠原、佐々木(日)、北村、池田、石橋、小神、藤森、佐藤、関東講師懇談会から木下そんき、中山英雄講師]が出席。

《討議内容》

①参加のお誘い文ならびに募集要項の検討…以前から提案されていた『順位をつけること(採点)を望まない方も出場できるように』(注釈:審査員の前で演奏し、提出した譜面に審査員がアドバイスなど書き込んだり、講評カードに記入して演奏者に渡す点は出場者全員同等に扱う)提案について前回に続き討議しました。(例えばアコーディオンでの弾き語りのような自由な演奏の方など)もっともっと多くの仲間と交流すべく、新たな発表の場としての可能性を求め試みに取り入れてみることに決まり今年度の募集要項に盛り込みました。

②出場参加料値上げについての提案…第17回より支出が収入を上回るようになってきたことで前回、値上げに対する提案を各委員がサークルや教室に持ち帰り、意見をきいてくることになっていた。今年度は、20周年記念イベントを企画していることもあり何かと出費をお願いすることになるのでできれば値上げは避けたいとの意見もあった。しかしながら、10年以上5000円をキープしてきたが「赤字の予算案で開催することは避けよう」との意見でまとめ、出場参加料を今年度より7,000円(前回までは5,000円)に値上げすることに決定しました。

◆「順位付けを望まない」を希望してエントリーする人も審査員からアドバイスや講評カードをもらう点は変わらないので、参加料は7,000円で統一することに決まりました。

③実行委員の体制について…《実行委員長》塚本五郎 《事務局長》築山泉 《企画部》佐々木日出也、池田健、田中積、佐藤恵美子 《組織部》北村きよ江、石橋友子、藤森瞬一、宇野綾子 《広報部》乙津良雄、小神長次、笠原順美 《財政部》佐々木すみえ (委員会欠席者は次回決めます)。

◆実行委員を常時募集しています。次回実行委員会の日程をニュースに載せています、都合のつく方は気軽に顔を出してください、委員会後の飲みものにケーションも楽しいですよ。また、各地の教室やサークルを訪問し、実行委員会への参加を呼びかけることなども検討しています。

- ④募集要項など印刷日程について…5月6日(水・祝)午後2時より、東村山市富士見公民館で印刷など発送作業をします。
- ⑤20周年記念イベント実行委員会より…イベント協力をお願い文。合同合奏への参加者募集をホームページに載せまし。 ●メインゲスト決めが振り出しに戻る。新たに候補に上がった方にコンタクトをとることになりました。 ●前回、多くの方の力を借りるべく「20周年記念イベント協力アンケート」を同封したところ、早速資金協力や自動車を出せるなどの申し出がありました。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。 ●当初押さえた会場はステージが狭いので代わりの会場を探しています。セッション杉並は、当日区の行事が入っているとのことで取れませんでした。今後、6ヶ月前の抽選会場の中から滝野川会館、赤羽会館(いずれも北区)の抽選(5月1日・金)に臨む事になりました。 ●過去2年間の入賞第1位(独奏、重奏、小アンサンブル、合奏)に演奏を依頼することに決まりました。《地域合同》では、木下先生(東部アコ、他)より「新世界交響曲」、松永先生(埼玉中心)より「ストライクアップ・ザ・バンド」が可能との申し出がありました。 ●次回実行委員会は、5月17日(日)18:00「トムソン」で行います。
- ⑥大阪ビバアコ参加について…今年のビバは6月21日(日)開催です。バンドアミーゴ+数名で参加する予定です。ジュンバ&アディオス・ノニーノを演奏してきます。

以上

=====

実行委員紹介



『橋本千香子さん』

◎ バンド アミーゴ所属

♯ ♭ ♪ ♯ ♭ ♪ ♯ ♭ ♪ ♯ ♭

写真のようにスリムな体形に似合わず、彼女の弾く楽器から出る音色は地底を這うような骨太い音だったり、ときには消え入るような繊細な音だったり、実行委員有志と一緒に合奏していて素敵な音につい振り返ってしまうのです。

彼女は所属しているバンド・アミーゴで、編曲、ピアノ、アコーディオン、ときには習い始めたチェロを担当することも。他に地元で“コーラス”

の指導もと、とにかく音楽のない生活なんて考えられないというようにエネルギッシュなのです。北海道で生まれ育ち、ピアノが習いたかったもののかなわず子供心に“すっごく”悔しい想いをしたと覗ったことがあります。彼女が音楽と向き合う時きっとそんな想いが強いばねになっているのでしょうか。周りからとっても頼りにされています。写真は、豊島区東長崎で行われた一日うたごえ喫茶「長崎の鐘」で伴奏した時のスナップ

(笠原順美：記)